

<事業名> 浜坂サンビーチ de あそビーチ体験 2022

団体名	山陰ビーチサッカーネットワーク
所在地	新温泉町
代表者名	松本 洋二

事業内容	<p>日時 令和4年6月17日～2月28日期间実施</p> <p>今年度もコロナ禍での開催となり一部内容を縮小することになったが、当初計画どおり8月に、地球環境スポーツ「ビーチサッカーFESTA2022IN 山陰海岸 shin-onsen」を実施した。実施にあたっては、兵庫県から示されている新型コロナウイルス拡大防止対策をしっかりと周知するとともに、感染対策として、事前申し込み必要とする「ビーチサッカー大会」及び「ビーチサッカー体験会」は、参加者の2週間前からの事前検温を義務付け、当日も検温確認と検温者済み者は、リストバンド着用のもと開催した。そのことにより、イベント実施に関して、参加者はもちろんのこと、地域住民への安心感につなげた。また、多くの制限や制約がある中でも、山陰海岸ジオパーク啓発イベント等で繋がりのある鳥取の(一社)すなばスポーツに審判協力を依頼したほか、B&amp;G 財団との協力事業として、砂あそビーチ体験ゾーンを設置し、ビーチテニス体験、ビーチモルック体験、スラックライン体験、ビーチ〇×クイズやスリッパ飛ばしなど、感染対策を徹底しながら、イベント当日に参加できるプログラムを2日間開催した。また、ビーチクリーン活動について、年間を通じて個人ごとに意識を高め、可能な範囲で浜坂県民サンビーチのクリーン作戦、自主的ビーチクリーン活動を積極的に実施するとともに、町内で開催される清掃活動やクリーン作戦への参加と協力への呼びかけを行った。浜坂県民サンビーチを交流体験の会場や環境啓発の意識を向上させる活動の拠点として、引き続きビーチサッカー大会等のビーチスポーツ活動、ビーチクリーン活動を通じて、各種団体、そして地域住民の協力のもと、但馬地域をはじめとする県内住民や鳥取県東部の若者がふれあい、交流する場の機会を今年も継続して提供した。</p>
地域	新温泉町
事業の効果	<p>(1) 団体(組織)内の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が継続する中、徐々にではあるが、浜坂県民サンビーチを利用する機会が増えてきた。マスク着用、手指消毒の徹底など各自が日々のコロナ対策をしながら、事業を実施するために必要なことをメンバー間で情報共有し、社会情勢の許される範囲の中で、実践することにつながっている。オンラインやSNS等を積極的に活用し、新しい形でのイベント事業構築に向け、メンバー間の意思疎通の活性化を図りながら団体の連携協働体制の強化につながっている。</li> </ul> <p>(2) 地域への波及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても本団体においては、「できることを、できる時期に、できる範囲で」というコンセプトのもと、延期、縮小、実践ということに拘り、中止することなくイベント実施を継続している。確かに、規模を縮小することで参加者収入や協賛収入が大きく減り実施することが厳しい状況となるが、支出削減のほか、さまざまな知恵を絞り、他団体と協働し事業を展開することで、新たな発想のイベントを行うことにつながっている。昨年から実施している砂あそビーチ体験を継続して実施し、今回では、新たな種目としてビーチモルックやスラックライン体験など、当日参加して子どもからシニア層まで誰もが多世代で楽しめるイベントをビーチサッカーFESTAと同時に実施することができた。</li> <li>・但馬地域はもちろんのこと、兵庫県全域、鳥取県東部住民(麒麟のまち圏域住民)との地域を超えた青少年のふれあい活動の推進を継続して行った。</li> <li>・8月末の気温が高い時期に主のイベント開催を行ったが、地元企業や飲料水メーカーの協賛を得て、水分補給飲料を参加全選手、スタッフに配布し、熱中症対策をしっかりと行うとともに、テントによる日陰エリアの充実、看護師待機など対策を行い、重大な傷病者なく事業を完遂することができた。</li> <li>・本団体の目指す取り組みは、SDGs No.14「海の豊かさを守ろう」の開発目標に合致して</li> </ul>

	<p>おり、スポーツとエコ（eco）の一体感づくり、ビーチスポーツイベントを通じた「浜坂県民サンビーチ」の環境保全意識を高める活動を広げていると実感している。</p> <p>・浜坂県民サンビーチという地域の貴重な資源を再確認することができた。特に、裸足で行うピッチについて、皆でビーチクリーン活動を行うとともに、はだしでサッカーやはだしでの気軽な体験イベントを行い、素足で砂をつかむ感触や不整地な砂の上で行う活動から足腰が強くなることの大事さを実感するなど多くの学びを得た。</p>			
	月 日	実施内容	場 所	参加人数
事業経過	6月17日	2022年度事務局調整会議	浜坂多目的集会施設会議室	10人
	6月28日	AED講習受講	B&G 浜坂海洋センター	5人
	7月13日	役員会/総会/三役会	浜坂多目的会議室	23人
	8月7日	び〜ちふえすた 2022 IN しんおんせん	浜坂県民サンビーチ	14人
	8月23日	事業運営会議	浜坂多目的会議室	12人
	8月26日	ビーチサッカークリニック	浜坂県民サンビーチ	25人
	8月27日	ビーチサッカー審判講習会	浜坂県民サンビーチ	21人
	8月27日	地球環境スポーツ「ビーチサ	浜坂県民サンビーチ	2日間
	8月28日	ッカーFESTA 2022 IN 山 陰海岸 shin-onsen」イベン ト実施		731人
	8月29日	事業運営会議（事務局会議）	浜坂多目的会議室	4人
	9月9日～11日	全日本ビーチサッカー大会 運営協力	明石市大蔵海岸	2人
	10月1日、2日	ビーチサッカー国際親善試 合運営協力	明石市大蔵海岸	2人
	10月9日	麒麟のまちビーチスポーツ フェスタ運営協力	鳥取市賀露海岸	10人
	11月16日	事業運営会議	オンライン	8人
	1月24日	事業運営会議	オンライン	9人
	2月28日	事業運営会議（事務局会議）	浜坂多目的会議室	4人
年間活動	浜坂サンビーチ周辺ビーチ クリーンアップや その周辺清掃活動への積極 的参加、協力		のべ260人	
協働の相手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）すなばスポーツ</li> <li>・B&amp;G 財団</li> </ul>			

今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

・コロナ禍で多くのイベント開催が困難になっている中、イベントを継続するため、対面だけでなくオンラインを活用した打ち合わせを随時行い、コミュニケーションを活性化するとともに、慎重に対策を講じて計画する中で事業規模を検討し実施している。事業終了後の参加者ヒアリングの中で、地域資産を活用したイベント実施に賛同する声や若者同士で参加するスポーツイベントが少なく、本イベントの意義や参加する価値があるなど、「イベント事業効果が高い」との意見をいただいている。当団体としても、若い世代を徐々にスタッフのメンバーとして迎え入れ運営することを実践中であるが、核となる人物、中心メンバーの発掘までは至っていない。しかし、16年間の継続したビーチサッカー大会開催により、運営関係全般、備品関係、行政との連絡調整等もスムーズに行うことができているため、引き続き、人材確保に努めていきたい。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

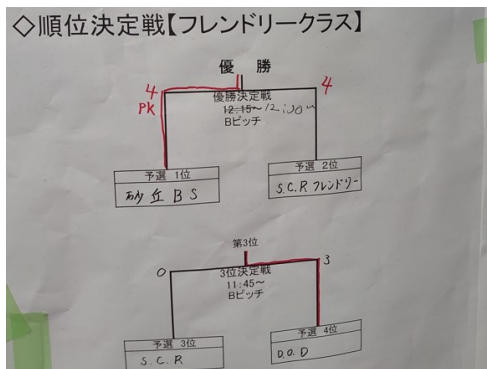
・新温泉町をはじめとする但馬各地域においては、年々人口減少に拍車がかかり、特に40歳未満の若者人口が非常に少なく、地方創生、地域創生を含め、地域の若者の力を引き出していくことが必要である。  
・但馬地域には、若者が主体となるイベントや事業が非常に少なく、地域を活性化し地元に着住する若者を増やすために、今後も継続して若者が主役となるイベントを開催し、但馬内外に広くPRすることが必要不可欠である。



4年8月26日～28日 ビーチサッカー体験



4年8月26日～28日オーバーヘッドキック挑戦



4年8月26日～28日ビーチサッカー大会



4年8月26日～28日ビーチテニス体験